

本 部

年次報告	211
本部	211
経営管理部	212
人事総務部	213
業績一覧	214
部署責任者一覧	215
職員数一覧	215
委員会など	215

目 本 部



1 目 標

社会医療法人仁生会の現状把握と将来方向を模索するために、最新の経済情報や医療情報の収集に努め、仁生会の全てのグループがコミュニケーションを緊密にして、和を尊び、仁生会憲章にもあるように、地域の皆さまが細木病院グループにかかって良かった、職員の皆さまにもこの病院で地域の皆さまに貢献できて良かったと思っていただけるように、常に前向きに思考できる環境を整える。同時に、経済的にも余裕をもって運営できる方向性を探る。

- ①各病院の収支を明確にして、問題点などを分析、検討できるよう努力する。
- ②各施設からの要望や本部からの考えをまとめ、優先順位をつけて計画を策定する。
- ③令和2年、当初から新型コロナウイルス感染対策で病院挙げての安全対策がコロナ対策チームの主導で一段と厳しく実施されている。
- ④本部の各部長・課長の共通認識を確かめ、仁生会の発展に寄与する。

2 人事異動

野町 まい 令和4年9月 入社
北川 景子 令和4年10月 退社
総職員数 14名

3 定期会議

1) 本部会議・毎週木曜日のAM9:00から運営会議
メンバー：細木秀美理事長、細木信吾理事、宮地耕一郎事務局長(理事)、文野正史人事部長代行、門脇弘幸経営管理部長、門田紘和課長、石元恵津財務課長、細木鷹子本部長。8名

- ①各部長、課長より、経営、運営上の現況や計画、および、問題点などを提案し、理事長の指示や情報提供に即応して、運営の方向性を討論している。
- ②昇給・賞与の試算など、仁生会全体の各種会合に



本部長 細木 鷹子

提案する試案について検討する。

- ③各病院長の意向を考え、将来に向けての企画やそのタイムスケジュール、財務上の問題点など、運営上の全般的な計画や考えをまとめる。
- ④本部の各部長の毎年の報告に従って、各部署の運営方針の下、職員の皆さまのご尽力とご努力により、各部署が運営されるように援助する。
- ⑤本部の各部長が共通の認識を持って、目標に向かって行動できる基礎を作る。

2) 試算表の検討会

毎月の各病院の収支と年度末の収支報告の検討などを行う。

新しい社会医療法人会計準則になって5年目に入り、外部監査法人の監査も3年目が過ぎ、財務職員の協力体制によりスムーズに推移した。

4 外部監査法人

昨年同様。大阪より清涼監査法人の船越明人氏が1人でまたはもう1人の職員と日帰りや1泊で再々来高し、運営や経営に対する指導もしていただき、決算総会に向けてのコメントを書いていただき、県、財務省に提出する。

5 ナウレッツビギンの執筆

仁生会の役員、幹部職員によるリレーエッセイ(簡単な時事などの小文章)を、毎月下旬に仁生会のホームページなどで公開し、広報誌の「じんせい」にも掲載している。

6 社会医療法人の定例事業報告並びに決算総会(理事会および社員総会)の開催と高知県への報告。

7 税金や給与などの処理、各種管理

毎月の役員給与、職員給与や税金、年末調整、数多くの経費の出金や、行政への提出書類への捺印、賞与の資金繰りなど財務と検討します。

出張旅費、イベントなどのお金はコロナ禍でWEBでの参加が多くなり、イベントもほとんどありませんでした。仁生会の実印・銀行印など全ての押印を行う。

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本 部

アドレス・高知

福寿園

積善会

⑧マザーグースの会

仁生会の常勤医の奥さま方の親睦会。年1回、昼食を摂りながら、お互いに仲良く会話を楽しんでいただき、ご主人の働きやすい環境を整備して、内助の功を發揮していただいています。今年もコロナ蔓延で、病院の現状を文書で会員の皆さまに報告して3年連続で中止する。

⑨危機管理室

他の部署との連携を図り、病院など見まわったり、アクシデントの解決や未収金の対応などには経営管理部長と力を合わせて、精力的に活動していただいています。相談しやすく、秘密保持され、頼りがいのある、なくてはならない部署として個人的な相談も増しているようです。高い信頼性を堅持している。

⑩その他

- ①4月1日の入社式の全員集合はコロナで中止、8月には、よさこい祭り参加も中止、11月の第5回職員文化交流会も3年連続で中止したので、今年も患者さまや職員の皆さまとも楽しい交流を持つことができませんでした。1月4日の仕事始めは、お屠蘇で祝いし令和5年が始まりました。コロナが収束し、ワクチンの接種も順調でありますように祈念しました。
- ②社会医療法人仁生会グループのOB会「じんせいクラブ」の立案と開催。
例年9月9日開催されていましたが、コロナのため2年間休会、今年3年ぶりの開催で11月12日に会食なしてでしたが、病院見学など、久しぶりの懐かしい先輩方との交流となりました。



経営管理部

①概要

経営管理部の組織は仁生会本部に所属し、部長、顧問、課長、主任、事務員2名の合計6名が在籍している。経営管理部は、財務課および経営管理課の二課体制で、経営管理課には危機管理担当室を設け、警察出身の顧問が多くの経験と深い見識でトラブル対応を当たっている。

仁生会では平成30年度決算から医療法改正への対応で外部監査や内部統制が必要となり、令和4年度も引き続き外部監査法人から会計処理体制の検証、現場に向いての棚卸の実地指導、内在しているリスク管理などの指導を受けた。



に翌月10日頃となっている。

(4) 実績検討

①月別試算表のフィードバック

各施設に対し、施設毎の収支などを取りまとめ月別試算表作成後、フィードバックを行った。

②細木病院、三愛病院で毎月開催される経営会議への出席

経営管理部長が出席し、損益計算書に基づき、当月実績と予算および前年実績との対比の説明を行った。

③附帯業務の部門別収支の検証

在宅部門の大部分が税務署の判定する収益事業となるため、部門別損益を作成し、税務申告を行う必要がある。よって、作成した部門別損益表を今後の運営に生かすため、各在宅部門にフィードバックを行った。

(5) 決算業務

関係部署に依頼して決算資料を提出してもらい、それをもとに決算書を作成している。決算書は、監査法人の審査を受け、県や税務署にも申告している。社会医療法人更新の手続きも当部で行っている。

②活動内容

(1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮しての資金計画の実施

コロナ蔓延の影響が大きく、入外とも延べ患者数は前年比較で大きく減少し、入外収益（介護医療院・老健収益を含む）は前年実績に対して減少した。

細木病院・三愛病院でコロナ陽性患者受け入れによる空床補償等運営費補助金を申請し補助金収入を最大限に生かして、極力借り入れを抑えた資金計画を実施した。

(2) 総会の開催

令和4年6月および令和5年3月に定例総会を開催し、事業計画や収支予算の決定などの承認を得た。

(3) 毎月の試算表作成

材料や給食費等主な支払いは月末締め翌月末日支払いとしている。よって、試算表作成時期はさら

③今後の課題・まとめ

(1) 業績面の課題をリアルに反映させるために試算表の早期作成は、今後の課題。

(2) 法律改正への対応

①インボイス制度

令和5年10月から開始となるインボイスへの対応で、「適格請求書発行者の登録」を申請し、登録番号を取得した。その後、各施設が発行している健診などの請求書をインボイスとして交付できるように関係部署と協議した。インボイス制度実

施後は、帳簿への記載方法や消費税の計算方法が変更となるため会計ソフトの更新が必要となる。

②電子帳簿保存法

令和4年1月から施行されており、2年間の猶予期間（令和5年12月末）までに体制整備を行う必要があり、準備を進めている。

(文責：経営管理部長 平尾 俊和)

(令和5年6月1日就任)



人事総務部

①概要

令和4年度は、人事総務部長 代行 文野 正史、人事総務課（細木病院 人事総務課人事グループ兼務）・係長 濱田洋子、広報課主任・安田貴彦、人事総務課・久光真美、三島美帆、大久保奏音の体制で業務を行っている。



②活動内容・目標に対する達成状況

(1) 人事総務課

【1】採用・退職人事

看護職の定期採用については、今年度は奨学生が11名、一般採用者が2名、合計13名であった。昨年度に続き定期採用者が増加した。また、採用全般について職種を問わず難航している。離職者の補充が適時にできなかったことや職種によっては充足に至らず、現場に負担をかけることが多かったことを反省している。

新規学卒者や中途採用者の採用試験、奨学生の採用面接並びに採用事務や退職事務に当たった。

【2】人事制度の運営

①人事制度委員会開催 年5回

②昇格試験について

令和4年度の昇格者の内訳は、等級別に次のとおりである。E6→E7 2名、S4→S5 9名、J3→S4 21名、J2→J3 33名、J1→J2 3名であった。

③医師の人事考課についての改修を、コンサルタントを入れて着手にとりかかった。

【3】令和3年度教育研修関係

①教育委員会活動 教育委員および事務局として、新採用者研修会、5年目研修会、10年目研修会、中途採用者研修会を開催した。全てオンラ

イン研修で行った。

②管理職研修会 新型コロナ禍の影響があり、昨年度に引き続き中止とした。

【4】ボランティアの受け入れ

【3】②の管理職研修会と同様に、新型コロナ禍の影響により外部からの受け入れは中止となったため、今年度も受け入れることができなかった。

【5】旧：土佐看護専門学校に関する事務

卒業証明書7件、成績証明書7件 合計14件

【6】出版活動・次世代育成支援事業活動

①年報の作成

令和4年度は、「2021（令和3年度）年度仁生会年報第24号」を600部作成し、関係各位に配布した。

②次世代育成支援事業

令和4年度は、6期連続の高知県「ワークライフバランス推進企業（次世代育成支援部門）」の認証更新ができた。国の「第5期一般事業主行動計画」（計画期間 令和2年6月1日～令和5年3月31日）では、認定に向けて男性の育児休業取得促進を目標に取り組みを行った。

また、高知県主催の「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の取り組みも行った。

(2) 広報課**【1】 広報業務**

- ①情報誌「じんせい」の編集、発行（毎月1回）
- ②パンフレットなどの作成
仁生会細木病院グループ、ドクター紹介、細木病院、細木病院入院案内のパンフレットを更新し、発行した。
- ③仁生会ホームページの更新
- ④新聞や各種媒体への広告掲載
- ⑤職員向けエッセー「ナウ・レッツ・ピギン」の編集、発行
- ⑥職員の名刺の作成
- ⑦仁生会年報編集委員
- ⑧年度中に担当者が入れ替わったため、業務の引き継ぎが行われた。

【2】 事務局業務

- ①仁生会広報委員会 毎月第2水曜日開催
- ③仁生クラブ（仁生会・積善会職員OB会）
入会案内、会計管理。今年度は11月12日に総会・懇親会を開催した。

③今後の課題

1. 採用人事については、アピール方法の見直し、他病院に見劣りしない工夫が必要となる。
2. 次世代育成事業およびワークライフバランス推進事業においては、施設間や部署間での施作実施の平準化を図ること。
3. 細木病院の医師に対する人事考課制度を刷新して、評価される側も納得できる制度の運用を行う。
4. 全施設の新人事制度に対応した等級・号俸および退職金ポイントの管理ができるように引き続きシステム整備を行っていくこと。

これらの課題解決に取り組むことにより、仁生会の健全な発展に貢献したい。

（文責：人事総務部 部長代行 文野 正史）

▶▶▶ 業績一覧 （2022年4月1日～2023年3月31日）

■ 本 部

理事長

□ 誌上発表（論文・著作・寄稿）

1. 細木秀美：「無影灯」、日本病院会ニュース 第1073号 p.1、2022年4月25日
2. 細木秀美：「主潮：少子高齢化に寄る、老人国、日本を考える」、日本病院会ニュース 第1078号 p.4、2022年7月25日
3. 細木秀美：「細木病院グループの近況2021」、岡山大学医学部内科学第三講座・同門会 同門会誌2022年 p.89、2022年12月10日

部署責任者一覧

令和5年3月31日現在

理事長	細木 秀美
副理事長	細木 信吾
本部長	細木 膺子
事務局長	宮地 耕一郎
経営管理部	
部長兼経営管理課長	門脇 弘幸
危機管理担当顧問	壬生 澄雄
財務課長	石元 恵津
人事総務部	
部長代行	文野 正史

職員数一覧

令和5年3月31日現在

本部	4 (2)
経営管理部	6
人事総務部	6 (4)
計	16 (6)

() は他施設との兼務者内数

委員会など

令和5年3月31日現在

仁生会定例会
本部運営会
院長WEB会議
さくら会 (看護部会)
相栄会

仁生会委員会
仁生会事務部門委員会
仁生会人事制度委員会
仁生会教育委員会
仁生会在宅ネットワーク委員会
仁生会広報委員会
仁生会年報編集委員会

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本
部

アドレ
ス・高
知

福寿園

積善会

